

いきいきとした町づくりをめざして

議会だより

からうら

No.45

2008.10.30発行

- 一般会計補正予算 2,562万円を可決 ②
委員会ハイライト ③
視察研修報告・防災シリーズ ④
全議員が一般質問 ⑤ ▶ 12
でけとんで〜〈追跡レポート〉 ⑬
はばたけ
ちびっ子アスリート ⑭

阿波勝浦八景から 立川溪谷 夫婦淵



一般会計補正予算

9月定例会

2,562万円を可決

— 予算総額 27億8,020万円に —

補正の主なもの

- 教育総務費 756万円
(勝浦中学校、横瀬小学校耐震診断委託料)
- 学校給食費 215万円
(調理加工費値上がり分)
- 企画費 100万円
(地域ICT未来フェスタ負担金)
- 徴税費 470万円
(税源移譲による住民税還付金)



改築が検討されている勝浦中学校

九月定例会は、九月九日から十八日までの十日間開かれ、二十年度補正予算や勝浦町保育の実施に関する条例の改正、勝浦町道路路線の認定、固定資産評価審査委員会委員の選任同意、また、新たな過疎対策法の制定に関する意見書等、三つの議員提出議案を全員一致で可決しました。一般質問には全議員が登壇し、町の考えを問いました。

町道の路線認定

- 沼江中俣示川端線
- 棚野上平線

議員提出議案

- 新たな過疎対策法に関する意見書
- 地方の道路整備の促進と道路整備財源の確保を求める意見書
- 公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する意見書

提出先

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣
県選出国會議員ほか

固定資産評価審査委員会委員

武田博之氏(与川内)
の選任に同意しました。

第三回臨時議会

十月六日に臨時議会が開かれ、教育委員会委員二名の任命について提案され、審議し同意しました。

山路宰治氏(今山)
朔章一氏(与川内)

総務産建常任委員会

九月一日に委員会を開き各担当課から補正予算、条例改正などについて説明があり審議しました。

総務課長から 二十年度一般会計補正予算等について説明がありました。

問 エルタックス導入でパソコンを何台購入し、その経費、そのメリットは。

答 二台購入し、経費は三十一万五千円である。

問 ICT未来フェスタの導入することによって事務の効率化が図られる。

答 ICT未来フェスタの目的と内容は、

基本的にはアステイとくしまと人形文化交流館をネットワークで結び、町民がICTに慣れ親しんでいただくことを目的とし、各イベントを開催・発信し、勝浦のイメージアップを図るものである。

問 ふるさと納税のPRと実績は。

答 パンフレットを作成し、ふるさと会等にお願

っている。
現在、二十一件の申し込みがある。

産業建設課長から 町道認定等について説明があり、現地踏査を実施しました。

問 町道認定することにより管理と安全性を保持しなければならぬ。認定の線引きが必要である。

答 認定の基準をもとに今後要望路線を十分確認したい。



現地踏査した沼江中傍示川端線

文教厚生常任委員会

九月二日に委員会を開き各担当課から決算状況、条例改正、補正予算などについて説明があり審議しました。

住民課長から 裁判員制度の概要と、それに伴う住民基本台帳システム改修の補正予算等の説明がありました。

問 住民基本台帳システム改修とは具体的にどのようなものか。

答 来年度から裁判員制度が始まり、裁判所に裁判員候補予定者を報告するなどデータを取り入れるシステムを改修するもので、本町は十五名が選出される。

福祉課長から 保育所の民間移管、条例改正等について説明がありました。

問 保育所の民間移管の法人の選定は。

答 八月六日に選定委員会から、三法人から一法人を選定し、二保育所を平成二十二年

つた。

教育委員会事務局長から 給食費の値上げ、補正予算等の説明がありました。

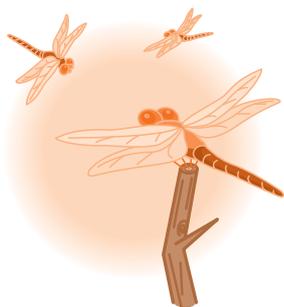
問 給食費の値上げは仕方なかったのか。全て保護者負担か。

答 食材費等の高騰で四十円の値上げとなり、保護者負担となる。

問 ファミリースポーツエスティバルとは。また、従来の「町民祭」はどうなるのか。

答 このフェスティバルは、来年度から始まる「総合型地域スポーツクラブ」のイベントとして十月二十六日に開催する。

今年も「町民祭」は開催しない。このフェスティバルの結果をみて今後の方針を決めたい。



文教厚生常任委員会

視察1 山原(ヤンバル)「楚州あさひの丘」

7月2日に沖縄県最北端、国頭村の「楚州あさひの丘」を視察した。
この施設は小学校の廃校による跡地利用として整備され、生活支援ハウス・デイサービスセンター・へき地保育園・宿泊施設・スポーツ施設などの複合機能を持ち、高齢者と子供たち、スポーツ合宿や宿泊者とのふれあい・交流の場として平成18年3月にオープンした。

国頭村とは、跡地利用検討中の平成17年に「ふれあいの里さかもと」に視察に訪れ、今後、交流を持ちたいとの呼びかけで今回の訪問となった。

ふれあいを中心としたアットホーム的な施設のなかで、村長を始め村の幹部・村議会全議員から歓迎を受け交流を深めた。

翌朝には天然記念物の貴重な「ヤンバルクイナ」の出迎えも受けた。

視察2 エコ機能ふんだんに「環境の杜ふれあい」

7月3日には沖縄県南風原町の「環境の杜ふれあい」を視察した。

この施設は「那覇・南風原クリーンセンター還元施設」としてエコをふんだんに取り入れ、環境・健康との共生、地域コミュニティの場として平成19年7月にオープンした。

特に環境学習コーナーや太陽光発電、風力発電、雨水の利用、屋上緑化など環境に配慮された施設となっている。

健康増進機能としては、温浴、サウナ・ジャグジー、冷水などの浴室や岩盤浴室、健康増進器具を備えたトレーニング室、体力測定室、体育館などが設置されている。



環境の杜ふれあい



▶ 真剣に実演 AED の使い方

防災シリーズ



自分で出来ることから

『横瀬自主
防災組織』

横瀬地区の自主防災組織は平成十二年四月に組織され、毎年、夜間に消火栓による初期消火の訓練を実施しています。女性の参加も多く、消防団員から指導を受け真剣に取り組んでいます。



▶ 救助ロープはしっかりと

全町一斉の防災訓練では、安否確認の後、昨年は消火器による訓練、今年には AED の使い方や救助ロープの結び方の指導を受けました。防災は「まず自分で出来ることから始めよう」を合言葉に、家庭から隣り組へ、さらに常会へと地域の安全の輪を広げるよう取り組んでいます。

今後はより多くの中学生、高校生の参加を促し、いざという時には若い力を役立ててもらえるようにしたい。

(横瀬区長)

危機感がない！ 防災体制

早急に防災会議を開き 計画を見直す（総務税務課長）

国清 一治 議員



いなど、大災害時のシミュレーションが全く出来ていない。

今後、防災訓練の内部組織の充実、強化、「防災の日」の設定など再検討にいち早く取り組むべきである。

また、畑総事業の本管が南北幹線道路に埋設され、破裂した場合の二次災害も想定される。防災計画の中に「畑総事業」の応急対策等が含まれていないので、早急に対応すべきでは。

答 総務税務課長

防災会議は十九年四月以後開かれていない。防災計画の見直しも出来ていないので、今回の防災訓練を検証し、年内に取り組みたい。

九月に「全町一斉防災訓練」が実施されたが、「災害対策本部」が設置されない。

答 産業建設課長

「畑総事業」の耐震調査は実施しており、耐震化については今後、国に申請し対応したい。



伊丹総務税務課長

「防災安全 宣言の町」に

町民が安心できる 町づくりを（町長）

問

大地震発生直前に気象庁から「緊急地震速報」が発令され、テレビ・ラジオで報道されるが、既設の「防災行政無線」を利用し瞬時に伝達できないか。

また、各学校では大災害に備えた防災訓練はどのようになっているのか。今後、本町が「防災安全宣言の町」として取り組む

答 副町長

県内でも「緊急地震速報」を「防災行政無線」に接続するシステムを導入しているところもあるので、今後検討したい。

答 教育委員会事務局長

各学校では平日に地震を想定し、管理マニュアルに沿って防災訓練を実施している。

答 町長

来年度に向けて防災の予算も充実し「町民が安心できる町づくり」に取り組む。



防災ヘリも訓練に参加

勝浦病院

医師不足対策は

職場環境を改善（町長）

節 公一 議員



答 病院事務局長

現状でも一名不足の状態であり、さらに不足する事態も懸念される。

県へは派遣要望書を提出し、募集案内の掲載や「医師バンク」の活用など求人活動にも取り組んでいる。

答 町長

職場環境の改善で医師や看護師の勤務意欲を高めるとともに、徳島大学医学部

問

今、病院経営で一番問題となっているのは医師不足である。勝浦病院も徳島大学から医師を派遣してもらっているが、人事異動で医師が引き揚げ、不足するという心配はないのか。対策は十分されているか。



前田病院事務局長

人工透析やマンモグラフィーを設置しては

に積極的に足を運んで交流を図るなど、あらゆる対策で対応して行く。

問

人工透析を受けている患者は本人、家族共に過酷な負担がかかっている。今後も人工透析が



医師不足も心配される勝浦病院

答 町長

必要となる患者が増える予想されるので、勝浦病院で治療出来るようにすべきでないか。また、乳がんの早期発見のためにマンモグラフィーを設置しては。

人工透析については必要となる要件を勘案して、中長期的に検討して行きたい。また、乳がんの早期発見で住民の健康を守るという

道の駅 用地交渉は十分な配慮を

問

当初、用地は賃借も可能との説明であったが条件の変更があったのか。

答 副町長

用地は買収の方向で交渉したい。

地権者には十分な説明をし、誠意を持って対応して行く。

その他の質問

- 提案公募型 補助事業について
- 学校の耐震化について

一般質問

原油高騰で農業経営圧迫

町の支援策は

国・県の動向をみて対応

(産業建設課長)

山野忠男 議員



問

町の基幹産業であるみかん農家は、価格の低迷と原油・肥料・農薬の高騰でますます経営が圧迫されている。今こそみかん農家を救うため、県・町の技術的な支援策が必要でないか。

答 産業建設課長

県では、原油価格高騰の

学校教育 将来ビジョンは

問

今「学校改築改修検討委員会」では、耐震化の議論と合わせて学校教育発展の将来ビジョンを打ち立て、町の特色ある学校づくりの議論をされて

対応として土壌分析実施体制の強化や肥料価格高騰緊急対策、借入金の利息の補助制度、省エネ低コスト技術緊急対策などを打ち出し、予算三千七百万円を補正すると聞いていますが、今後、町の負担も必要になるので、国の動向を十分注視しながら対応したい。

答 教育長

特色ある学校づくりと将来のビジョンは、現在小中学校で実施している基礎学力の定着、体力や規範意識の向上、他人をいたわる心などをさらに進化させることである。

いると聞くが、どのような内容か。

答 教育委員会事務局長

耐震工事のハード面と合わせて、将来的な少子化の影響を見据えた議論をしている。保護者、地域、学校現場などさまざまな視点から議論を積み重ね、改築改修工事を行いたい。



谷添教育委員会事務局長



稲井教育長

ICTフェスタ 目的とメリットは

情報通信技術を
楽しく身近に

(総務税務課長)

問

十一月七日から三日間「地域ICT未来フェスタinとくしま」が開催されるが、この事業の目的と住民に対するメリットは。

答 総務税務課長

このフェスタの目的は、目ざましく進歩する情報通信技術の世界を、多くの住民に楽しく身近なものとし、地域の情報化への取り組みや地域独自の「ICT活用モデル」の提案を発信して行くものである。

ICTの未来が見える ひかり王国とくしま

地域 ICT 未来フェスタ 2008 inとくしま

光つながる e(いい)まち・あわかつうら

～ 勝浦会場イベントのご案内 ～

平成20年 11月7日(金)-8日(土)

会場：人形文化交流館

入場無料

地球温暖化防止の対策は

環境町民会議で協議（町長）

森本 守議員



問 これから数年間の私たちの行動が地球環境を大きく変えると言われて

いる。温暖化対策として省エネの冷蔵庫や電球への交換、太陽光発電やペレットストーブの導入などがある。喜楽苑ではゴーヤのカーテンで省エネに役立させている。省エネの取り組みに助成してはどうか。

答 町長

町民の意識を高めるのに

環境町民会議で協議し、助成についても調査したい。



ゴーヤのカーテンで省エネ

新型インフルエンザ対策は

問 この冬、新型インフルエンザが発生するのではないかと心配されている。病院や学校での対応は。

また、国や県からの指示はあるのか。

答 病院事務局長

マニュアルはないが、サーズウィルスの対応を参考に

にする。

答 教育長

普通のインフルエンザの対応しかないが、いち早く情報を得て対応したい。

答 副町長

県は九月末に担当者会議を開催しているので、説明を受け対応したい。

沼江バイパス用地交渉の進み具合は

年度内に契約したい（産業建設課長）

森 健 議員



問 用地関係者との交渉の進み具合と今後のスケジュールは。

答 産業建設課長

延べ二十五回の交渉を行った結果、おおむね理解を得たと思っている。年度内に全員と契約が出来るように取り組み、契約後着工したい。

集中豪雨

対策について

問 ゲリラ豪雨と言われる突発的な集中豪雨が各地で多発している。今までのマニュアルで対応出来るのか。

答 総務税務課長

気象庁や県の防災情報、町の降雨量を注視して対策本部を設置し、より早く判断し対応したい。

農業資材高騰

対策は

問 農業資材が高騰している。対策事例の収集や上部関係機関への働きかけは。

また、町独自の施策は。

答 副町長

国、県に依りて対策の予算化をしているので早い執行を期待している。町としても支援策を検討したい。



資材高騰で農業経営を圧迫

勝浦中学校

改築にゴーサインを

検討委員会で協議中（町長）

大西一司議員



経験者や学校関係者の方々等で協議中だ。魅力ある学校づくりや学校教育のあり方を検討しながら協議を進め、結論を待つて方向性を示したい。

問

国は学校の改築改修工事の補助率を大幅に上げ、耐震化を大きく前進させようとしている。横小の耐震化工事、勝中の改築工事に町長は方向性を決断すべきだ。特に勝中は改築を前提とした協議を進めるべきでは。

答 町長

現在、検討委員会です。

シカの食害対策 被害が急速に拡大 対策は

防護さく補助
（産業建設課長）

問

シカの食害が急速に拡大している。農業に大きな被害をもたらす、生産意欲を無くす人も出ている。被害状況と対策は。



シカの食害が進むみかん園

答 産業建設課長

被害は生名・黒岩地区より上流地域で発生している。県の推計では被害面積は三・七ヘクタールとなっている。対策として防護さくの設置に二分の一の町単補助を二年度より実施しているので活用してもらいたい。



倉坪産業建設課長

中角地区通路

改良の見通しは

今年度測量費を
要望していく
（産業建設課長）

問

昨年九月議会で「二十年三月に国の補助事業として申請出来るよう取り組む」との答弁であったが、着工見通しは。

答 産業建設課長

県の財政事情の悪化により「二十年度着手は難しい」との回答があったが、現在

今年度中に測量費の計上が出来るよう強く要望している。

一般会計十九年度決算
予算執行は適正か

問

十九年度実質収支は三月議会で約一億九千万円減額補正した上、約四億三千万円の残となっている。適正な予算執行が出来ているのか。

答 町長

実質収支は四億三千三百九十九万円となっているが、十八年度決算で約三億六千万円の繰り越しがあった。その上に交付税収入が見込みより約一億一千万円の増収となったことが大きな要因だ。支出では行財政改革による経費抑制が大きい。今後も適正な予算執行に努めたい。

■その他の質問

- 道の駅全体構想について
- スポーツフェスティバルと町民祭
- 原油高騰対策について
- 消防広域化について

勝浦農業

活性化の取り組みを

国や県に価格保障 制度を求めて行く（町長）

井出美智子議員



活性化に取り組んで行くのか。

答 町長

農業の厳しさは認識している。活性化のために、国や県に向けて価格保障制度を求めて行きたい。

また、「よつてネ市」での取り組みの充実や学校給食での地産地消をさらに進めるなど、農業振興につなげて行きたい。

問

世界的な食糧情勢の激変や、毒入りギョーザ事件をきっかけに食の安全に不安が広がっている。自給率を上げようという声が大きくなってきているが、農業の現場は極めて厳しい。石油や資材、肥料の高騰でなお一層追い詰められている。

町の状況をどう認識し、



中田町長

高校生の通学費

補助しては

来年度予算に 向け試算（町長）

問

子育て中の負担が大きくなるのは義務教育後の高校からである。親の経済力が子供の教育の格差につながっている。一人親家庭や低所得者家庭な



バス通学に補助を

答 教育委員会事務局長

ど対象者を限定して、通学費補助、町奨学金制度の見直し拡充を図るべきではないか。

奨学金制度は過去の実績で予算化し、パンフレット等により制度の周知を図っている。

現時点では貸付額の増額等についての要望は聞いて

いない。

答 町長

通学費補助は来年度予算で試算をしてみる。

高齢者も業者も 助かる制度を

問

介護保険や高齢者等住宅リフォーム支援事業で、対象工事を町内業者に発注した場合に限り補助をするなど、高齢者も業者も助かる制度を作ってはどうか。

また、耐震工事の際にも島根県益田市のように町内優遇策を取り入れたらどうか。

答 産業建設課長

これらの制度は、個人給付が原則なので、補助は適当でないと考えます。



改善センターと婦人の家

施設の統合が必要では

統廃合も考える（産業建設課長）

松田貴志議員



要と思うが、統廃合について協議されたのか。

答 教育委員会事務局長

町民体育館は昼間の利用がほとんどなく、本来の目的が達成されていないので、指定管理業務を見直し、町のスポーツの振興の拠点となるような委託内容で、新たに管理者を募集している。

答 産業建設課長

問 平成十七年度より指定管理者に委託しているが、今回、来年度以降の管理者を新たに募集している。制度が運用されてから町民体育館の管理が行き届いていないように思うが。

また、農村環境改善センターと農村婦人の家の利用状況から、施設の集約が必

要と思うが、統廃合について協議されたのか。

スポーツクラブ

財政見通しは

会員二百人は必要（教育委員会事務局長）

問

総合型地域スポーツクラブの設立に向け、準備委員会などで協議が進んでいるが、来年度以降の財政見通しは。

答 教育委員会事務局長

小・中学生は二千人、高校生から六十歳未満は三千五百円、六十歳以上は二千元年会費の設定で考えると、会員が三百名程度で財政見通しが立ち、体育館の指定管理やスポーツ振興補助金、県の補助事業に取り組み、財源確保に努めたい。



豊岡住民課長



取り壊しが検討されている中山単独住宅

町営住宅

新たな整備が必要では

来年度に向け検討（町長）

問

町長は選挙公約で若者の定住に向け企業誘致に取り組むと言っていたが、現状は難しい。多くの町営住宅が老朽化する中で、新たな定住策としての住宅整備が必要では。

答 町長

住宅を求める町民の声を謙虚に聞き、来年度予算に向け検討して行きたい。

答 住民課長

住宅の問い合わせがあった場合に民間の住宅・アパート等の案内をしているが、空き家・空室の情報は把握していない。

残された任期

重点施策は何か

全力投球で頑張りたい（町長）

西浜勝己 議員



問

町長は三月の所信表明で、残された任期中にしっかりとやるべきことをやり、「活気と活力のある住みよい町づくり」の実現をめざすと言ったが、あと一年六月で何を重点施策に取り組むのか。

答 町長

農業の振興と交流の町づくり。道路改良では沼江バ

問

畑総施設が老朽化しているにもかかわらず

水源確保 間伐事業の見通しは

五年計画で
実施したい
(産業建設課長)

イパス二期工事の早期完成。道の駅については二十一年度着工に向け取り組む。病院では十月に「機能評価」を受け、より質の高い医療をめざす。教育問題では小中学校の改築・改修で「検討委員会」の協議の推移を見守りたい。また、常備消防の設置も検討したい。

らず県予算がゼロであるが、その原因は何か。

また、簡易水道水源確保のための間伐事業の対応は。

答 産業建設課長

施設の耐震化事業の予算の申請を行ったが、採択されなかった。二十一年度の予算確保に万全を期したい。簡易水道の水源確保については「多様な森林づくり」実現に向けて「水源確保間伐事業」のモデル事業として取り組みたい。

町道改良工事 執行状況は

優先順位をつけ
執行したい
(産業建設課長)

問

町道改良の要望箇所と執行状況は。また、県道新浜勝浦線の最近の情報はどうなっているのか。

答 産業建設課長

町道の執行額は現在九百万円である。各地区からの



老朽化により破裂した畑総施設

要望は七十三箇所あったが優先順位をつけ、予算の範囲内で執行したい。県道新浜勝浦線は中山工区を含め見通しは立っていない。

東部広域懇話会 協議内容は

平成十八年度から徳島市周辺十二市町村で構成している「徳島東部広域市町村長懇話会」の協議内容と、勝浦町の対応は。

問

平成十八年度から徳島市周辺十二市町村で構成している「徳島東部広域市町村長懇話会」の協議内容と、勝浦町の対応は。

答 副町長

会議設立以後、懇話

会は六回開催され、協議内容は生活基盤、道路整備、ゴミ処理施設のあり方などの検討を行った。

答 町長

町は少子化対策としてファミリーサポートセンター設置に努力した。今後も広域行政課題解決に取り組むたい。



折野副町長

でげとんで〜

追跡レポート



パート1

町議会では、年四回の定例会において「町政を問う」一般質問をし、町長をはじめ理事者から答弁がありま

すが、出来たもの、前向きな答弁があつても出来ないものもあります。広報委員会では過去の質問・答弁を追跡し報告します。

県道「柳原工区」 拡幅工事

本年八月工事完了

十八年三月議会

問

この拡幅問題は一向に進んでいないが何が原因か。今後の見通しは。

答

木の伐採、ガードレールの設置など問

題はあるが、現在、実施設計の準備中である。

追跡Q

この拡幅問題も、再三質問もあり協議を続けてきたが、地元関係者等のご理解ご協力をいただき今年の八月に工事が完了した。



流れがスムーズになった柳原工区

集会所の バリアフリー化

進展せず
今後も追求

十九年六月議会

問

バリアフリーとして各集会所の段差の解消スロープの設置状況と今後の対応は。

答

現在、二カ所の集会所で整備されている。今後、区長と協議し予算の範囲内で検討したい。



スロープが設置された山西集会所

追跡Q

このことは十八年三月にも質問がされており、町の振興計画にも明記されながら進んでいない。今後、議会において追求していきたい。

みかんブランド化 専門技術者を

予算化されず

十九年十二月議会

問

貯蔵みかんの生き残りかけた町の「ブランド戦略」の積極的な推進に向けて、栽培と貯蔵の専門技術者の導入を。

答

みかん産地の維持発展のため十分検討し、二十年度予算に反映する。

追跡Q

検討されたが、二十年度予算に計上されなかった。再度追求したい。

はばだけ！ ちびっ子アスリート

勝浦JVCチーム (女子バレーボール)

今回紹介するのは、「勝浦JVCチーム」です。前身の横瀬JVCと合わせると25年以上も活躍している女子バレーボールチームです。オリンピックでは多くの国民から期待を集めるバレーボール。メンバー全員の心意気を聞きました。



★キャプテン



背番号
1

黒田愛莉 (6年)

みんなで助け合って、勝利をめざして頑張ります。



2 北内水晶 (6年)

大会で優勝できるように、練習を頑張りたい。



4 山下悠夏 (6年)

もう、最後なので優勝をめざして頑張りたいです。



3 山平理恵 (5年)

みんなで力を合わせて、頑張りたいです。



7 木原美保 (4年)

最後まであきらめないで、頑張りたいです。



6 北内真珠 (3年)

これからも、一生懸命頑張ります！！



8 粟飯原夏鈴 (3年)

これからも、声を出して頑張りたいです。



9 長田 菫 (3年)

これからも、みんなで楽しくバレーをしたいです。



呑口 監督

●監督からひと言●

バレーボールを通して、それぞれが夢に向かって日々努力して頑張っています。

練習日時

◎毎週 月・水・金・土曜日

◎横瀬小学校 体育館
午後5時30分から8時まで

【連絡先】

黒田恵美子 ☎42-2266



毎年八月に東京永田町で開かれる全国町村議会の広報研修会に今年も委員全員が参加した。広報担当者を対象にした研修や意見交換などを通じ議会広報の向上発展を目的としている。議会に対する住民の理解と関心を深める努力が要請されている中、二日間の講義に耳を傾け、真剣なまなざしで聞き入る研修者の姿は議会広報担当者としての責任感からくるものなのか・・・。

議会内容を町民に分かりやすく伝える重要な役割を自覚しつつも、毎回議会だよりの編集に頭を悩ましていた。

時あたかも衆議員選挙の前哨戦。政党優先か仕事のできる人を選ぶのか候補者はいろんな公約を発表しているが、はたして財源の裏付けは・・・。

これも頭を悩ましていた。

(編集委員長)

編集後記

